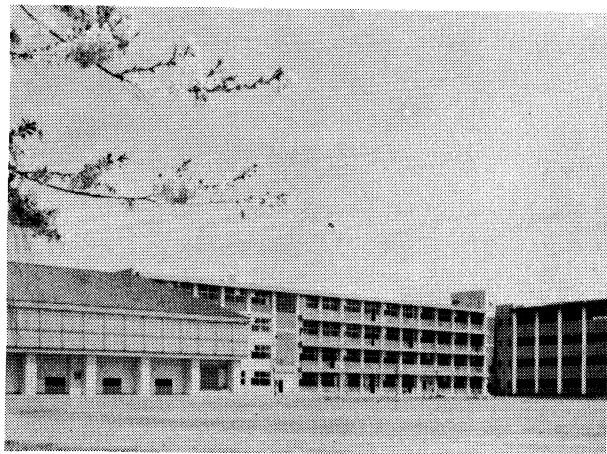


福島県立猪苗代高等学校

校舎正面 ▶



▼ 校舎全景



三年

浅倉美紀

猪苗代高等学校校歌より

朝秀つる磐梯の

高嶺にもゆる夢をよせ

夕湖水に清らかな

まことを映し若人ら

手とりつどうわが学び舎

本校生四一八名は、毎日磐梯山を仰ぎ、猪苗代湖に映った自分たちの姿をみつめながら、互いに手とり協力し合って生活している。この大自然の中に、私たちは「厳然と立脚し、博愛の心を持って、目標に指向する思想」を志としており、「驕らず、飾らず、全ての人々の幸福を願う謙虚な態度」即ち「柔和な心」を大切に行っている。

世界の灯愛の星

英世の精神うけ継ぎて

愛と文化の花栄ゆる

郷土をつくる若人の

ところをつちかうわが学び舎

これは、世界的視野に立ち、郷土を通して生きていく生徒の理想の姿である。勉学に勤しみ、部活動で自己を鍛える。また、学校行事を通じて集団生活の難しさと重要さを学ぶことができる。生徒会では「自覚」「自治」「自立」を目標とし、生徒一人一人の参加を呼びかけ、活気のある生徒会を目指している。先輩の築きあげた数々の輝

かしい伝統を受け継いで保持することに努め、更に発展させていきたい。

往きかう風のかみどり

みのりゆたかな田園の

支柱と生きる若人ら

磨上原の花桔梗

ゆかしくかおるわが学び舎

最近、地域社会をみなおそうとする意識が高まってきている。自然環境をはじめ、歴史や人々の生活など、秋の文化祭に向かって調査が進められているのも、その現れである。私たちは、個々の力を精一杯発揮し、自己の内容を充実させていきたいと思う。磐梯にはばたく若鷹のように、強く、正しく朗らかに。



(校長 菊池力衛・生徒数 418名)

ぼくの学校わたしの学校